

ヨーロッパで出会ったバロック音楽

～リュートとソプラノの調べ～

Play List

- ◆ G. G.カプスベルガー / ラルペツジャータ
- ◆ H.I.F ビーバー / 無伴奏ヴァイオリンの為のパッサカリア
- ◆ C.モンテヴェルディ / Quel Sguardo Sdegnosetto(その軽蔑のまなざし)
- ◆ S.ディンディア / Piangono al pianger mio (私の涙に涙する)
- ◆ G.F.ヘンデル / 歌劇「リナルド」より Lascia ch'io pianga
(私を泣かせてください) … 他

※ 曲目は変更になる場合があります

ソプラノ
フローリー・ルループ



リュート・テオルポ
佐々木 勇一



2025

4/19

(土)

開演 14:00

(開場 13:30)

越後森林館

(新潟市西区曾和)

前売り 3,000円 全席自由

(未就学児の入場はご遠慮ください)

後援 新潟県森林組合連合会 越後にいきる家をつくる会

主催 音楽を楽しむ会 025-387-5647

チケット取扱い 新潟県民会館 025-228-4481
コンチェルト 025-225-0300
越後森林館 025-261-7111
喫茶来(豊栄図書館内) 070-8538-3443

Profile

佐々木 勇一（リュート、テオルボ）

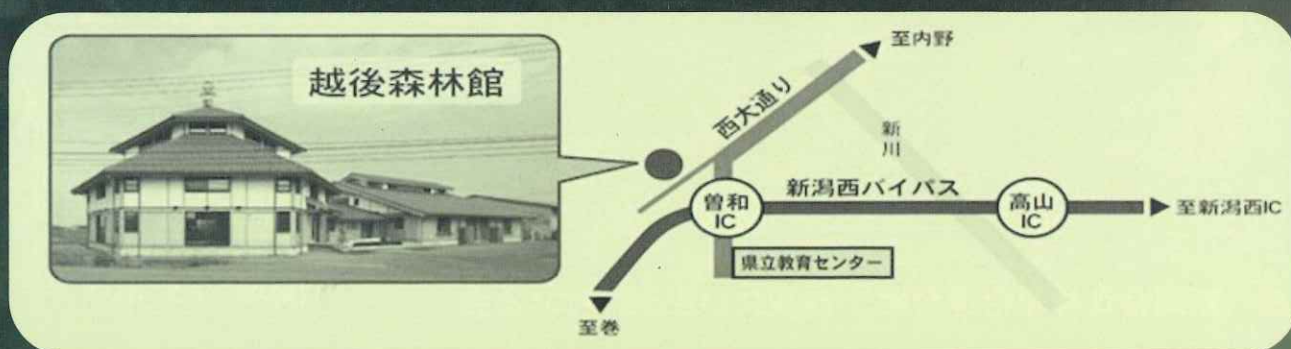
柏崎出身。11歳の時にギターを始め、マサキ・キクチにクラシック・ギターの指導を受ける。2012年にドイツでアニエッロ・デジデリオとフーバート・ケッペルにギターを学び、2015年から2018年までケルン音楽舞踏大学でコンラート・ユンゲヘーネル教授の下でリュートを学ぶ。2018年10月からはデビッド・ベルクミュラー教授の下でリュートを学ぶ。2023年、リュートの修士課程を「最優秀」で修了。現在、ライプツィヒのフェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽・演劇大学で、シモン・リンネの指導の下でマイスターズチューデント（ドイツ国家演奏資格）として学んでいる。2020年と2021年に野村財団から奨学金を受ける。現在、ソリストとして通奏低音奏者として、数々のモダンおよびバロックオーケストラと共演。2021年にゲルゼンキルヒェン歌劇場で上演されたG.F. ヘンデルのオペラ「エジプトのジュリオ・チェーザレ」に通奏低音奏者として参加。また、ロック、ポップ音楽などのアンサンブルに参加。CD「L' arte del Virtuoso Vol.2」（ヨハン・シギスムント・ヴァイスのリュート作品）が発売中。演奏動画はYouTube（Yuichi Sasaki, <https://youtu.be/Mt79YmlblkY>）などで公開中。

フローリー・ルループ Florie Leloup（ソプラノ）

ベルギーの音楽一家に生まれ、歌うことと絵を描くことの二つに情熱を持つ。リェージュのサン＝リュック学院でイラストを学んだ後、歌に専念することを決心。モンス王立音楽院（ベルギー）に入学し、専門修士号および教育学修士号を取得。在学中、MMアカデミー（ブリュッセル）やヴェルビエ音楽祭など、いくつかの合唱プロジェクトに参加。また、自らの室内楽プロジェクトを創設し、他の芸術分野とのコラボレーションプロジェクトにも関心を持つ。17世紀の音楽に非常に深い関わりを持ち、数年間にわたりこの分野のレパートリーを探し求め、ヘンリー・パーセルからイタリアのバロック音楽まで、高く評価されている。知識を深めるため、ケルン音楽舞踏大学のカイ・ヴェッセルのクラスで、歴史的楽器とバロック歌唱の修士号を取得。現在、さまざまなバロック音楽の編成でコンサートプログラムを引き続き組み立てている。イタリアとドイツの17世紀の音楽を結びつけたプログラム「Jetztund kömpt die Nacht herbey」で佐々木勇一と定期的に共演し、フランソワ・オビネ（テオルボ奏者）と共に17世紀のフランスのアリアを集めたプログラム「Les tendres regrets」を制作している。

アクセス

越後森林館 〒950-2144 新潟市西区曾和 521-3 TEL 025-261-7111



お問合せ

音楽を楽しむ会（本間） 025-387-5647 / 080-5682-6166 tontonconcert@gmail.com
新潟県森林組合連合会 025-261-7111